

花きの県別生産出荷概況(9月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	6月出荷見込み 千本		主産地	8月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
小ぎく	秋田県	34 (115%)	小雨、寿光、精ことひら、 精なぎさ、みのる、玉姫他	2,048	1,024	JA秋田やまもと JA秋田みなみ JA秋田しんせい JA秋田おぼこ JA秋田ふるさと	40	35	25
	茨城県	143 (100%)	しずか、オータムレモン、 サマーレビー、花絵他	6,000	4,100	龍ヶ崎市、茨城町、 小美玉市、鉾田市、 石岡市、土浦市、 かすみがうら市 他	35	45	20
	群馬県	21.8 (102%)	こかげ、小雨、翁丸、 めぐみ、なかよし他	980 (100%)	920 (100%)	赤城たちばな 甘楽富岡 利根沼田	30	45	25
トルコギキョウ	北海道	2756 (98%)	ピッコローサスノー ジャスニーホワイト クラリスピンク 海ほのか	5,623 (101%)		由仁町 JAそらち南	40	30	30
	秋田県	12 (110%)	ロジーナシリーズ ピッコローサシリーズ セレモニーシリーズ 他	510	306	かつの、 秋田しんせい、 秋田おぼこ、 秋田ふるさと、 こまち、うご	30	30	40
	山形県	28 (90%)	ポヤージュシリーズ ピッコローサシリーズ ロジーナシリーズ 他白八重、他ピンク八重、 他黄八重、一重	1,349 (75%)	809 (75%)	JA新庄市、 JA新庄もがみ、 JA山形もがみ、JA鶴岡、 JA庄内たがわ、 JA庄内みどり、 JA山形市 ほか	35	35	30
	福島県	10.6 (93%)	白八重 ピンク八重 バス紫 他	700 (95%)	580 (95%)	あいづ 会津みどり 会津いいで	25	40	35
	茨城県	10 (100%)	パレオグリーン サマーキング	320	255	水戸市	40	40	20
	群馬県	7.1 (90%)	ロジーナシリーズ ポヤージュシリーズ バルカンシリーズ ボレロシリーズ 他多数品種	190 (90%)	160 (90%)	利根沼田	30	40	40
バラ	茨城県	11 (98%)	アマダ、レッドスター、 オークランド、アヴァランチェ、 つくばエクスプレス、サムライ、 他	630	510	茨城町 水戸市 土浦市 石岡市 結城市 他	30	35	35
	群馬県	15.2 (97%)	アヴァランチェ サムライ 他多数品種	760 (97%)	630 (97%)	前橋市 利根沼田 甘楽富岡	30	35	35
	山梨県	3.8 (100%)	ローテローゼ サムライ 等	320 (94%)	300 (97%)	笛吹市(御坂町)	35	35	30
	静岡県	43 (97%)	サムライ アヴァランチェ リメンブラン シンディ	1,100 (95%)	900 (95%)	JA掛川市 JA大井川 JAしみず JA遠州夢咲	30	30	40
	愛知県		サムライ08 レッドスター アヴァランチェ シンディ フレア 他	2,500 (100%)	1,400 (100%)	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河	30	35	35
	大分県	1.3 (150%)	Mシリーズ Jシリーズ 他	380 (95%)	150 (95%)	九重飯田 玖珠九重 山香	30	40	40

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
小ぎく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しんせい:1週間程度前進傾向にあり、8/25くらいから徐々に出荷数量が増えるとみている。</li> </ul>	<p><b>現状</b> 8月盆需要に向け、各地、月の前半より増加し盆需要期に入荷ピークとなった。その後の入荷に関しては通常の入荷となる。販売においては、物日需要に向け特に廉価な品物から引き合いが強まり、上位等級がやや販売苦戦となった。また、色目でいえば、特に赤小ぎくが例年になく潤沢で、引き合いが厳しいものとなった。需要期後は入荷も落ち着き、通常の販売。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3~4日程度前進気味。</li> <li>・出荷量は平年どおりで品質は概ね良好である。</li> <li>・病害虫の発生は多い。</li> <li>・一部のほ場では草丈が短い。</li> </ul>	<p><b>見通し</b> 各産地作付けは昨年並み、出荷動向としては天候等に大きく左右されるが、9月中旬に出荷のピークを迎える予定。需要に関しては、9月のお彼岸需要が中心の動きとなる見通し。</p> <p>大田花き 岩手・秋田など東北中心の入荷。彼岸需要に向け出荷量増量。</p> <p>FAJ 東日本板橋花き お彼岸需要にあわせて入荷量増、お彼岸需要で引き合いあり。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部でハダニ類、アザミウマ類、オオタバコガの発生がやや多い。</li> <li>・現在までの生育は概ね順調であり、出荷量は平年並みを見込む。</li> </ul>	<p>世田谷花き 若干は減るが、数はそこそこある見通し。 @40~20</p> <p>第一花き 彼岸需要中心の流れ、出荷状況にもよる。 @35</p>
トルコギキョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月出荷分はやや前倒し傾向である。</li> <li>・8月下旬より出荷がピークになる可能性あり。</li> </ul>	<p><b>現状</b> 天候の影響を受けている高冷地産地が多く製品率低下、下位等級の割合も高く、数量も落ち込み厳しい状況となった。販売面では、お盆需要もあり昨年と比べると活発な取り引きとなった。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には前進傾向ではあるが、昨年のような前進はしていない。6月中下旬定植のシェードしない作型のもので、9月上旬に出てきそう。オオタバコガの発生が多くなっているため、徹底防除に努める。</li> </ul>	<p><b>見通し</b> 今後の天候の影響にもよるが、プライダル、お彼岸需要を中心に動きがある見込み。</p> <p>大田花き 彼岸需要にプラスして宴会需要も高まり、需要増加。引き続き東北中心の入荷。</p> <p>FAJ 東日本板橋花き 8月後半から9月にかけて高冷地の遅れていた分が出荷始まるので数量増。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月出し作型の生育は、8~9月が記録的な高温で経過した前年より遅く、出荷は極端なピークがなく継続する見込みである。出荷量は、作付面積がやや少なくなっていることと、前年のような極端な開花期の前進がないことから、前年の75%程度と見込まれる。</li> <li>・切花品質は、7月の長雨・日照不足の影響により花蕾数が少ない状況で推移したが、8月下旬以降は回復する見込みであり、病害虫の発生は少なく経過している。</li> </ul>	<p>世田谷花き 北海道、山形、長野、福島などから潤沢入荷。</p> <p>第一花き 入荷状況にもよるが、業務・彼岸需要で安定した流れ。 @100</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいつ:季咲きが終盤。現在抑制の出荷初め。短日処理はほぼ終了し、生育は概ね順調。例年より定植を遅らせたこともあり、計画通り9月中下旬にピークを迎える見込みだが、高温・強日射により、一部品種で丈の伸びが悪い。</li> <li>・会津いいで:生育は概ね順調だが、高温・強日射により、丈の伸びが悪い。</li> <li>・会津みどり(坂下):9月中旬から順々に出荷が始まる。抑制の作型が増えている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育は概ね順調で、平年並みの出荷が見込まれる。</li> </ul> <p>・ボリュームはあり作柄は良好。沼田、昭和の出荷は終盤となり、片品の出荷が本格的となる。アザミウマ類が散見される。</p>	
バラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷のピークは平年並み。</li> <li>・8月の高温の影響により、花茎が短く、花も小さくなる等の品質低下が予想される。</li> </ul>	<p><b>現状</b> 高冷地は天候が安定せず、例年のボリュームがない。入荷量も昨年と比べ約1割ほど少ない状態。西南暖地は下位等級の出荷を見合わせていて、秋口に備えている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年ほどの高温ではないため、株の状態は良好であり、概ね平年並みの出荷量を見込む。</li> <li>・ハダニ類、アザミウマ類の発生が一部でやや多い。</li> </ul>	<p><b>見通し</b> 2週目からプライダル需要が回復してくるため、西南暖地の出荷量が増加する。</p> <p>大田花き 9月に入り宴会需要増加。取り引き活発になり、相場持ち直す見込み。</p> <p>FAJ 東日本板橋花き 残暑も厳しいため、今後の生育面の懸念もある。入荷量は少なめ。連休、敬老の日と需要控えているため、引き合いはある。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育は概ね順調。</li> </ul>	<p>世田谷花き 数量は昨年並みの予想。暑さの影響もあり、ステムの長い物は高値がでるが、下位等級は販売厳しい見込み。</p> <p>第一花き 業務需要中心の流れ、需要もない時期で厳しい販売。 @70</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状40~50cmクラスの下階級中心の出荷となる見込み。生産者の高齢化による廃業および野菜への転換などにより、出荷量は減少する見込み。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷量としては前年並みを見込む。</li> <li>・ヒートポンプによる夜冷を行っているが、猛暑の影響で下位階級の出荷量が多く、ボリュームもない。</li> <li>・9月も同様に下位階級の発生が多く、ボリュームがない状態が予想される。</li> </ul> <p>・現在生育は良好で、平年並みの出荷となる見込み。各産地全体的に少なく、9月末~10月にかけて増えてくる見通し。九重では圃場整理のため、品種によって出荷量減となる見込み。</p>	